

八王子学園八王子高等学校

ボランティア部

高校生ボランティア・アワード2022

「ボランティア、いろいろやっています！」



【活動概要】

八王子学園八王子中学八王子高等学校ボランティア部の活動は、以下のように、幅広く様々なボランティアをしているのが特徴です。

①点訳絵本の製作・視覚障がい・盲導犬への理解

タックペーパー（粘着シール）に点字を打ち、絵本に直接貼り、視覚障がいの有無に関わらず、絵本と一緒に読めるような工夫をした絵本を作成し、視覚特別支援学校へ寄付する活動をしています。点訳については、毎週地域の盲導犬ユーザーの先生に指導をいただいています。下校時は部員みなも盲導犬と一緒に帰るので、理解も深まります。

②地域清掃

月に1度、JR西八王子駅周辺を清掃しています。駅の周辺は特にゴミは多く、最近ではマスクのゴミなどもあります。地域清掃をしていると、「ありがとう」などと声をかけてくださる地域の方もいて、こちらも元気づけられます。

③各種募金（ウクライナ・赤い羽根・ユニセフ）

赤い羽根募金は毎年10月に西八王子駅での街頭募金を行い、ユニセフ募金は毎年12月に学校の正門で行っています。これに加えて、今年は4月にウクライナの人道支援のための募金を校内で行い、日本赤十字社を通じて95,484円寄付しました。校内での募金は、みんなに人道についての関心を持ってもらうことも出来ました。

④福祉事業所製作のお菓子販売サポート

月に1度、昼休みに学校の食堂前で、「ぶらさでかたくり」という福祉施設で作ったお菓子を販売しています。作ってくださった施設の方とボランティア部と一緒に会計や呼び込みなどをサポートしながら販売しています。美味しいお菓子なので、全校生徒・先生にも好評をいただき、いつも売り切れに近い状態になります。

⑤学園祭での校内献血実施赤十字献血サポート

毎年、学園祭では日本赤十字社のご協力のもと、校内献血を実施しています。2021年9月実施の学園祭では、献血申込者65名、献血者47名の協力をいただきました。（教室内のキャパシティを考えると、かなり多い協力数です）コロナ禍で、献血自体の供給量が減っているとのこと、少しでもお役に立てたらと考えています。また、学校で献血を実施することで、献血が出来ない16歳未満の生徒にも献血を身近に感じてもらい、いつか献血が出来るようになったときに、協力的になってもらいたいという願いも込めています。

⑥特別支援学校・盲学校との交流

八王子盲学校は本校からも徒歩5分の距離にあり、過去にはフロアバレーボール大会の共同チーム交流、授業交流、学校見学交流など様々な交流をしてきました。コロナ禍の昨年度はZoomで交流会を行いました。同じ通学路を使うので、双方が事故にならないようにするために、どんな点で盲学校の生徒が困っているかなどを聞き取り、それをもとに本校生徒向けに、視覚障がいへの理解を促す動画を作成し、学校全体で視聴しました。

八王子西特別支援学校の生徒さんたちは、NPO団体を通じて、八王子ビートルズというプロバスケットボールチームが主催するバスケットボールの試合・イベントに参加し、車いす介助などをしつつ、一緒に楽しく交流をしました。

⑦コンタクトレンズケース回収

コンタクトのアイシティ主催の「アイシティecoプロジェクト」を通じて、年間10～20kgの使い捨てコンタクトレンズケースの回収を行っています。使い捨てコンタクトレンズケースを再資源化した際の原料代を、日本アイバンクに寄付し、角膜移植とアイバンク啓発事業にあてていただいています。

⑧保育園ボランティア

近隣の光明第一保育園との交流を定期的に行っており、主に夏休みに保育ボランティアをしています。2021年度の夏休みは、緊急事態宣言下だったため、保育室には入れず、保育で使う画用紙などでの作成などのお手伝いをし、実際に子どもたちとの交流はオンラインという形になってしまいました。今年度は、実際の保育ボランティアも実施する予定です。また、夏祭りイベントのお手伝いにも参加予定です。

⑨手話学習

月に数回、手話を勉強しています。簡単な会話ができるように練習するほか、手話の単語を増やすために手話歌も練習しています。手話を交えて、絵本を読んだり、クリスマス時期にはクリスマスソングを手話でやって、それを動画にして、保育園に送り、園児たちに見せて好評をいただきました。

⑩肥沼医師の偉業を伝える活動

八王子市出身の肥沼信次医師は、第2次世界大戦時にドイツで感染症の研究をし、戦後ドイツのヴリーツェン市の医療センターで流行したチフス患者のために尽力した方です。東ドイツであったため、東西ドイツが統一されてからその事実が判明し、その偉業を「八王子の野口英世」として八王子市内から広めていく活動が始まりました。毎年、肥沼医師の誕生日などに八王子駅近くでイベントを行い、そのお手伝いをボランティア部が行っています。また、3月の命日には、学校全員で折った千羽鶴を偉業を伝える会・八王子市を通じてヴリーツェン市へ送り、肥沼医師の墓前に飾っていただいています。



【学校概要】

東京都八王子市台町（JR中央線西八王子駅徒歩5分）にあり、中学高校1800名を超える生徒が通うマンモス共学校です。高校の陸上部・男子バスケットボール部・水泳部・吹奏楽部などは全国大会常連校であり、様々な部活動が盛んで元気な学校です。

「平和を心に培おう」「人格を尊重しよう」を学校モットーとしており、地域のニーズに応じて幅広い活動を行っています。八王子の地元諸施設とのつながりを大切に、声をかけてくださる諸団体のニーズに応じて、新たなボランティアにも挑戦しています。コロナ禍で、今までやってきたボランティアの一部（病院待合室でのボランティアなど）に制限がありますが、保育園ボランティアなど少しずつ制限が解かれてきました。これからも、さまざまなボランティアにチャレンジしていきたいと思っています。

ボランティア部にもさまざまなコースの生徒が所属し、各々の得意なものを活かしながら活動しています。

【ボランティア部概要】

私達ボランティア部は、現在中学生3名、高校生9名の合計12名で活動を行っています。ボランティア部は、30年近く、地域でボランティアを行っており、地域のニーズに応じて幅広い活動を行っています。八王子の地元諸施設とのつながりを大切に、声をかけてくださる諸団体のニーズに応じて、新たなボランティアにも挑戦しています。コロナ禍で、今までやってきたボランティアの一部（病院待合室でのボランティアなど）に制限がありますが、保育園ボランティアなど少しずつ制限が解かれてきました。これからも、さまざまなボランティアにチャレンジしていきたいと思っています。

昨年は高校生ボランティア・アワードでコミュニティ賞をいただき、いただいたアイパッドで活動日誌や活動記録をデータで残せるようになりました。ありがとうございます！今年も他の学校の活動を聞けるのを楽しみにしています。